

コンクリフ オーラム 3県学生が発表準備

石川高専

コンクリート構造物の維持管理をテーマにしたフォーラムが二月十五日に富山市で開かれるのを前に、参加する北陸三県の大学、高専の学生二千人が二十一日、津幡町の石川高専で準備作業を進めた。

学生たちは富山県立大や金沢大、金沢工業大、石川高専、福井大でコンクリートを専攻している。フォーラムでは「私たちが考える



発表に向けて準備をする学生
ら=津幡町の石川高専で

コンクリート構造物の未来のすがた」と題し、技術や構造物、維持管理システムの未来について、他の学生らに尋ねたアンケート結果などを発表する。

石川高専環境都市工学科

の津田誠准教授は「違う大学の学生と作業することで互いのコミュニケーションの向上にもつながる。北陸の横つなぎを新年度も

続けていきたい」と話し
(島崎勝弘)